



「鉄道のお得で便利な乗り方」講座

Vol.22



【市内の駅から鉄道に乗ろう！編】

丹波市では、市内の駅から鉄道に乗るとお得な制度があります。

◇毎月22日は駅隣接の市営駐車場の1日無料

毎月22日の「たんば鉄道の日」は、市内の福知山線全7駅に隣接する市営駐車場の、一時預かり区画が終日無料で利用できます。

※日付が変わると通常の料金が加算されます。

■利用料金 / 通常1回300円 → 無料

※1時間以内の駐車は毎日無料です。

◇出張時の駅周辺駐車場の実質無料

出張時に利用された市内駅周辺の一時預かり駐車場利用料金が、助成により実質無料で利用で

きます。

■対象者 / 丹波市 JR 福知山線複線化推進協議会に加入している企業・事業所

■申請方法 / 利用後、協議会に申請してください。

丹波市 JR 福知山線複線化推進協議会とは？
JR 福知山線複線化の実現を目指し、市の鉄道施策と連携しながら、市民主体で JR 福知山線の利用促進につながる旅行の企画や美化活動などを実施している市民団体です。

詳細はホームページにも掲載しています。 →



〈次回は7月20日号で「福知山線利用増進補助・乗継割引」について掲載予定〉

閩未来創造課（本庁舎内） ☎ 88 - 5360

クラスタ、オーバーシチュート、都市封鎖、テレワーク、行動変容、3つの「密」：短期間の中で新たな言葉にも数多く出会いました。

2月初旬ごろまでは、ここまですぐに重大事と思わなかった私たちの認識が、大きく方向転換しつつあることを如実に感じます。

突然、安部首相から「全国に向けて休校の要請」があったのは2月27日でした。腰が抜けるほど驚きました。「自治体の独自判断を超えた国難が迫っている」との緊張感を持った瞬間でもありました。

姉妹都市提携を結んでいる米国ワシントン州の市長さんからは、フェイスブックで「アメリカではとんでもないことになっている」というメッセージを受け取りました。

4月7日には「特別措置法」

市長コラム

丹波語り

新型コロナウイルス対策



に基づく「緊急事態宣言」が発令されました。いわば「伝家の宝刀」を抜いたわけですが、この先にはどんな世界が待っているのか、正確なことは誰にも見通せない、そんなトンネルに突入した感があります。

子どもの教育に加えて、時間の経過とともに多分野にわたる諸課題が噴出し、市民生活は脅かされています。雇用不安、経済対策：かなりの長期戦となり、豪雨や台風とは全く性格の異なる「大災害」です。

一日も早いコロナ禍の終息に向けて、丹波市としては「市民の命と暮らしを守る」ために、国や県の動きを注視しながら、迅速かつ果断に自治体としての判断や予算措置などの責務を果たさねばなりません。

市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。ともに頑張りましょう。

丹波市長 谷口進一